

プレゼン：3月10日 B会場 15:00～ IoTによる生産の見える化と連携

## 対象業務の現状と取組み

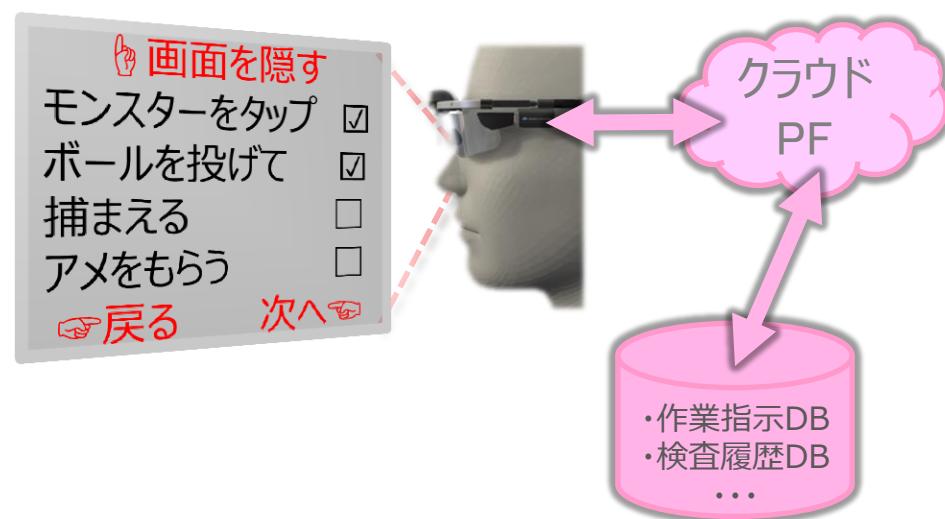
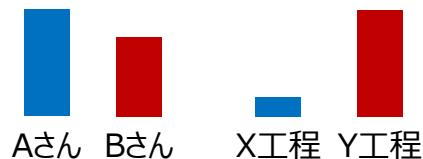
### 変種変量生産における現場作業の課題をウェアラブル端末とIoT活用で解決

変種変量生産の現場作業では、顧客からのカスタマイズ要望へ個別対応するために作業教育コストや工数が増加し、原価抑制が課題となっています。これらを解決するために、ウェアラブル端末とIoT活用によって①スキルレスで作業ができる、②作業時間を最適化する仕組みを作ることによって生産ラインの革新を目指します。

現場の困りごとを追求した結果、紙資料と手作業が存在する「渡り配線加工」「出荷検査」工程の課題を抽出し、解決するためのシナリオを作成しました。

## 実証実験・業務シナリオ (TO-BE)・成果

「変種変量生産の配電盤製造工程」において実証実験を行ったところ、作業/検査指示のコンテンツ・アプリ作り込みによってスキルレス作業および実績工数の見える化に貢献できることが分かりました。今後はDB蓄積した作業別実績を解析することで、工数の最適化も推進していきます。



### ファシリテータ：

多田光博 コニカミノルタ(株)

### エディタ・メンバ：

今井利幸 コニカミノルタ(株) 佐藤一裕 アドソル日進(株)

佐久間隆史 日産自動車(株) 篠崎勉 日本電気(株)

清水正寿 (株)ジェイテクト 杉山尚夫 富士フイルムエンジニアリング(株)

増田芳樹 三菱電機(株) 武者整 (株)東芝

依田光広 (株)国際経済研究所

